

## 令和2年度 事業計画

### I 基本計画

わが国では、雇用情勢が大きく改善し有効求人倍率は高水準となり宮城県の令和元年12月末1.61倍、大河原管内0.99倍を示しています。このように、雇用情勢が大きく改善している一方で、企業における人手不足が顕在化している状況にあります。

公益社団法人角田市シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、高齢化社会が進むなか、生涯現役社会の実現に向け、意欲ある高齢者に就業等を通じ地域で活躍する機会を確保し、それぞれの希望や特性に応じた活動をサポートするため多様な選択ができるしくみづくりを進めております。

市民が企業等を退職したあとは、「センターに登録すれば必ず地域で活躍の機会がある。」とされるよう事業を進めると共に、人手不足解消に貢献できるよう努めてまいります。

令和2年度は、きらりシルバー応援事業の最終年度となることから、昨年度発行した「お得本」の活用など、会員登録のメリット感を高め、多くの60歳以上の市民に入会いただき登録者数500名を目標に掲げ、活力ある地域づくりを進めてまいります。

受託就業並びに派遣就業については、さらなる新規の受託や派遣就業先の開拓に努めてまいります。

派遣事業については、公益社団法人宮城県シルバー人材センター連合会から示された「同一労働・同一賃金について」を参考に派遣先均等・均衡方式を進め法令順守に努めます。

今年度は、派遣先と契約を締結する際に職務内容や処遇について情報を提供いただき働きやすい環境を整えると共に派遣会員の有給休暇の取得や教育訓練等の費用を考慮し、派遣事務手数料を20%から25%に引き上げ環境を整えてまいります。

介護予防・日常生活支援総合事業の自立支援型サービスAへの参入については、年度内に対策をまとめ角田市と連携し順次、受託をすすめ地域社会の福祉の増進に取り組んでまいります。

おでっ隊については、実施してから7年目に入り利用者に喜んで頂き順調に、就業機会を確保しておりますが更なる市民への周知を図り事業を進めてまいります。

子育て支援については、夏休み等においてシルバー世代と交流できる事業を展開し支援を進めてまいります。

このように多様な就業機会や地域で活躍する機会を確保し事業の拡大・推進を図り就業延42,600人日を目指してまいります。

昨年10月に発生した台風の影響で角田市は甚大な被害を受け厳しい財政状況に置かれております。当センターも財務の健全化に努め会員の負託に応えるべく、役職員一致協力してセンター運営に取り組んでまいりますので、会員のご協力と関係機関のご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



## 2 派遣事業

- 派遣就業は、各派遣先に対し同一労働同一賃金について情報提供いただき作業環境を整える。

また、安全等の教育訓練や有給休暇の適正な管理を図る。衛生委員会は、衛生管理者・産業医等を配置し毎月1回開催する。

派遣会員については、センターが定める「健康診断自己チェックリスト」の提出を促す。

さらに、自動車運転業務に携わる会員には、「交通安全講習の受講義務付け」と「交差点・安全運転度診断」や「運転前の健康チェック」、「認知機能の検査」の提出を求め安全意識の高揚を図る。

## 3 地域班・職域班の推進

- 会員の自主的・自立的な組織活動に積極的な参加を促す。
  - ・ 地域班活動の充実（班会議の定例化・ボランティア活動等での連携強化）
  - ・ 職域班の定期的な研修

## 4 普及啓発活動の推進

- 就業拡大・会員拡大を図るための普及啓発活動を積極的に展開する。
  - ・ 「広報かくだ（角田市）」・「河北あんふいに（河北新報目黒新聞店）」にシルバー事業内容の説明や新規会員募集記事の掲載
  - ・ 「フリーペーパー」を発行し事業内容や会員就業先の紹介を掲載
  - ・ シルバー事業内容の紹介記事や会員募集を掲載したパンフレットを配布

## 5 安全就業の徹底

- 安全管理委員会において「安全は全てに優先する」という意識を持ち、就業中や就業途上の安全対策を図る。草刈り班・剪定班については事故が発生すれば重篤事故に結びつきやすいので「安全就業マニュアル」、「ヒヤリハット表」を活用し安全就業に対する意識を高める。
  - ・ 安全祈願祭の実施（7月3日（金））
  - ・ 安全就業強化月間の制定（7月）
  - ・ 安全パトロールの実施（7月・毎水曜日：8月～11月・第1水曜日）
  - ・ 草刈り班は部外講師による安全就業研修および機械点検の実施
  - ・ 剪定班は安全就業研修および機械点検の実施
  - ・ 高齢者交通安全大会の実施（角田警察署および角田自動車学校との連携）
  - ・ 通勤途上の事故の抑制

## 6 就業機会の確保

- 会員へ就業の機会の確保を図る。
  - ・ 未就業会員への呼びかけ。地区班長・世話人を通じての就業機会の相談
  - ・ 会員就業時の現場や企業への訪問挨拶
  - ・ 企業訪問を行い就業の拡大を図る

## 7 福祉・家事援助の充実

- 超高齢化社会に対応すべく事業の充実を図る。
  - ・ 角田市委託事業の軽度生活支援事業や家事援助サービスを推進する。
  - ・ 介護施設補助員など、派遣事業の充実を図る。
  - ・ 事業に携わる会員の資質向上を図るため個人情報の保護や守秘義務に関する講座を企画実施する。

## 8 調査研究活動

- サービス利用者及び企業に対して、会員の就業状況や接遇に関するアンケートの実施
  - ・ 就業に対する発注者満足度アンケート調査
  - ・ 会員の就業に関するアンケート調査

## 9 技能訓練研修の実施

- 会員の就業開拓を図るため技能や技術の向上を図る。
  - ・ 剪定班植木剪定初級コース講習会の実施
  - ・ 草刈り班草刈り機械の取扱い講習会の実施（宮城ヤンマー商会）
  - ・ 自動車運転実車訓練および運転適性検査の実施（角田自動車学校）

## 10 地域ボランティア事業及び活動

- ボランティア活動を通じて、地域社会と会員相互の連携を図る。
  - ・ 角田市内各地区拠点施設の除草清掃作業（7月18日（土））
  - ・ 阿武隈リバーサイドマラソンコース除草清掃作業（10月17日（土））  
＜健康ウォーキング(健康ポイント付与事業)を兼ね清掃活動を実施する。＞
  - ・ 市内各所における昔遊びの伝承
  - ・ 角田市内の老人福祉施設入居者に対するお話相手（傾聴）
  - ・ 夏休みシルバー世代交流事業（子育て支援）

## 11 会員の福利厚生

- 会員親睦旅行委員会による、会員親睦旅行を実施し、会員相互の親睦・融和・協調を図る。

## IV. 角田市委託事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

### 1 街なか交流サロン「ひだまり」

- 街なか交流サロン「ひだまり」は開設7周年を迎える。年間延べ利用者数6千人日を数え盛況のうちに運営されている。  
令和2年度は、従来の会員による管理に加え、市内の各団体との連携を図りそれぞれの企画に協力を促しさらなる充実を図る。
  - ・ 夏まつり（8月14日（金））
  - ・ 牟宇姫ひな祭り
  - ・ いきいき百歳体操については、医療法人本多友愛会と連携協定を結び理学療法

士、作業療法士を迎え、利用者の満足度を高める。

- ・ 童謡サロンは、有限会社ユーライフカナガミと連携し声楽講師を招き参加者に童謡を通じ市民の交流を促す。

## 2 脳いきいき健康楽習教室・いきいき百歳体操

- 脳いきいき健康楽習教室は、公文教育研究会と連携を図り、川島隆太先生の教材を活用し利用者の満足度を高める。脳いきいき健康楽習教室の合間にいきいき百歳体操を実施することで心身の健康と脳の健康維持効果を高める。

## 3 介護予防・日常生活支援総合事業

- 自立支援訪問型サービスAの受託環境を整え、角田市の福祉の増進に寄与する。

# V. 厚生労働省委託事業

## 1 きらりシルバー応援事業

- 平成30年度から3年計画で「きらり輝け！GoかくだCity「今を生きる力を活かし地域創生」フレッシュ777（スリーセブン）作戦」を実施している。この事業では、地域の健康で働く意欲のある方々に会員登録を促し、会員が連携しその力を活かすことで地域力を高めて行こうとするものである。シルバー世代の力を活かし、各地区や企業の人手不足解消を図り活力ある地域づくりを進めることを目的とする。

1) 運営委員会及び実施部隊を継続し設置（組織や会員と連携し事業推進、会員拡大）

2) クイック会員登録（理事長決済会員登録、随時入会説明の推進）

3) イメージアップ作戦（小学生等への事業の普及啓発）

4) 人手不足担い手育成（介護職員初任者研修の開講）

5) 年齢を重ねても就業できる場の開拓